

お 知 ら せ

1. 件 名

梅雨前線の降雨における味噌川ダムの洪水調節効果（速報）

2. 概 要

平成18年7月17日、梅雨前線の影響により、木曽川水系木曽川の源流に位置する味噌川ダムの流域では、15日17時から19日12時にかけて、累計約448mmの降雨を観測しました。特に19日3時の時間雨量は21mm、19日2時から4時までの3時間雨量は52mmを記録しました。

この降雨により、味噌川ダムの流入量は18日17時43分に洪水流量(50m³/s)に達し、その後、19日3時54分に最大流入量約117m³/sとなりました。この流入量は、味噌川ダム管理開始（平成8年12月）以降、最大であり、この流入量に対して最大約86m³/sをダムに貯留し、下流の洪水を軽減しました。

また、木曽福島地点では警戒水位を超えさらに増加していたことから、木曽町長より味噌川ダム管理所長に放流量の減量要請があり、国土交通省木曽川上流河川事務所長の指示により最大50m³/sの放流量を30m³/sに減量し放流を行いました。

この結果、木曽福島地点において、約0.30mの水位低減効果があったものと推測されます。

3. 雨 量

流域平均雨量 約448mm（降り始めからの累計値：15日17時から19日12時まで）
ダム地点雨量 約432mm（降り始めからの累計値：15日17時から19日12時まで）

4. 味噌川ダム洪水調節量

ダム最大流入量	19日3時54分	約117m ³ /s
ダム最大流入時放流量		約31m ³ /s
洪水調節量		約86m ³ /s

5. 下流基準点での効果推定値

ダムが貯水池内に洪水を貯留することにより、木曽福島地点での実績最高水位は約3.2mでした。

ダムがなかった場合の木曽福島地点での水位は、約3.5mと推測されます。（この値は、木曽福島地点の実績水位に味噌川ダム地点の洪水調節量を加算して求めた水位です。）

木曽町福島地点 味噌川ダム下流約20km
住所：長野県木曽郡木曽町福島大手町5785

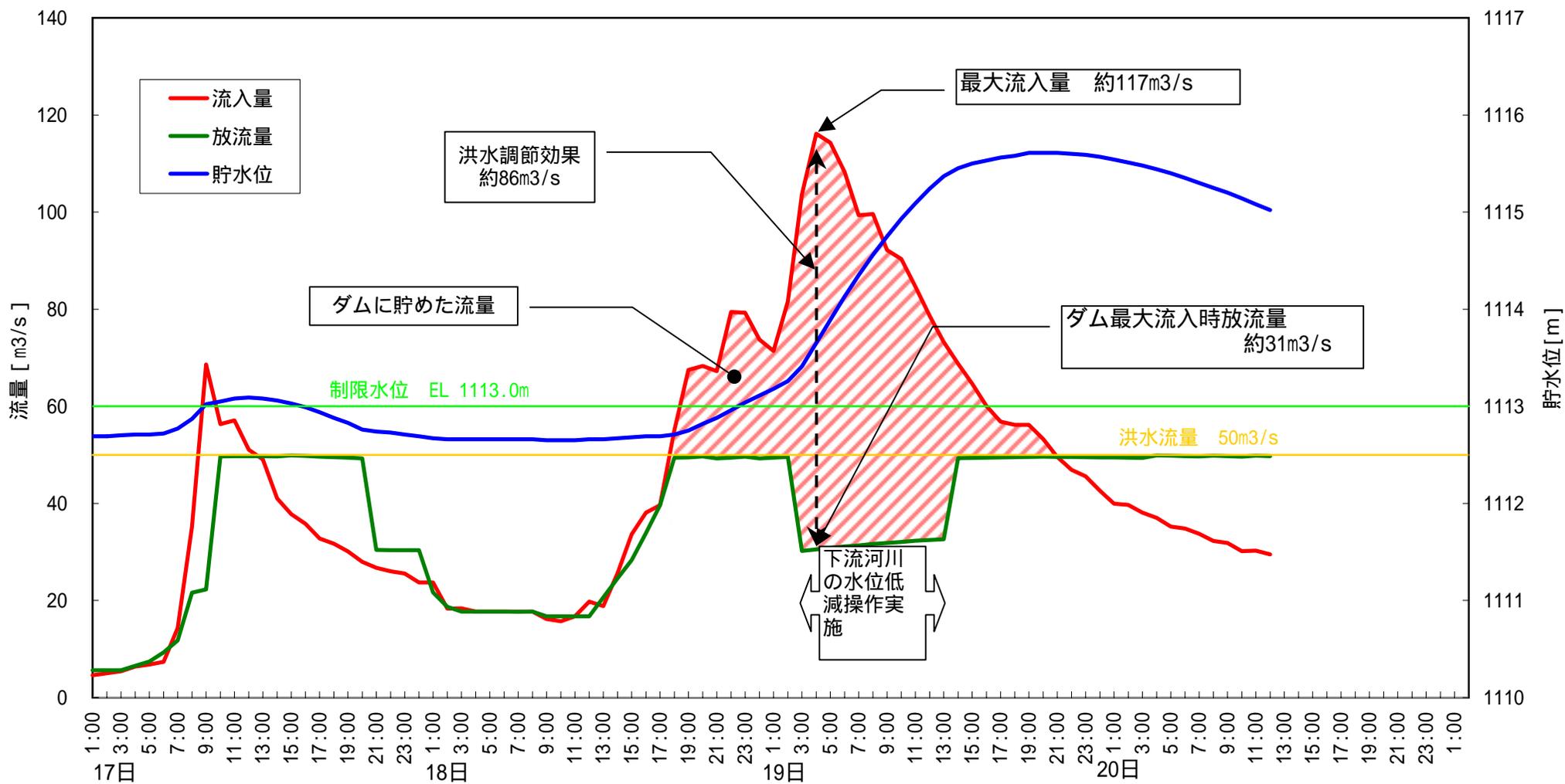
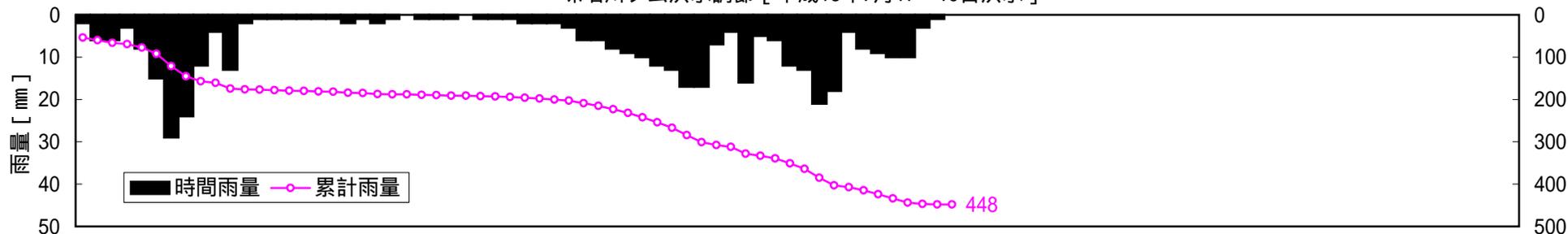
6. 配付先

信濃毎日新聞木曽支局
中日新聞木曽福島通信局
市民タイムス
松本市市政記者クラブ
木曽合同庁舎記者クラブ

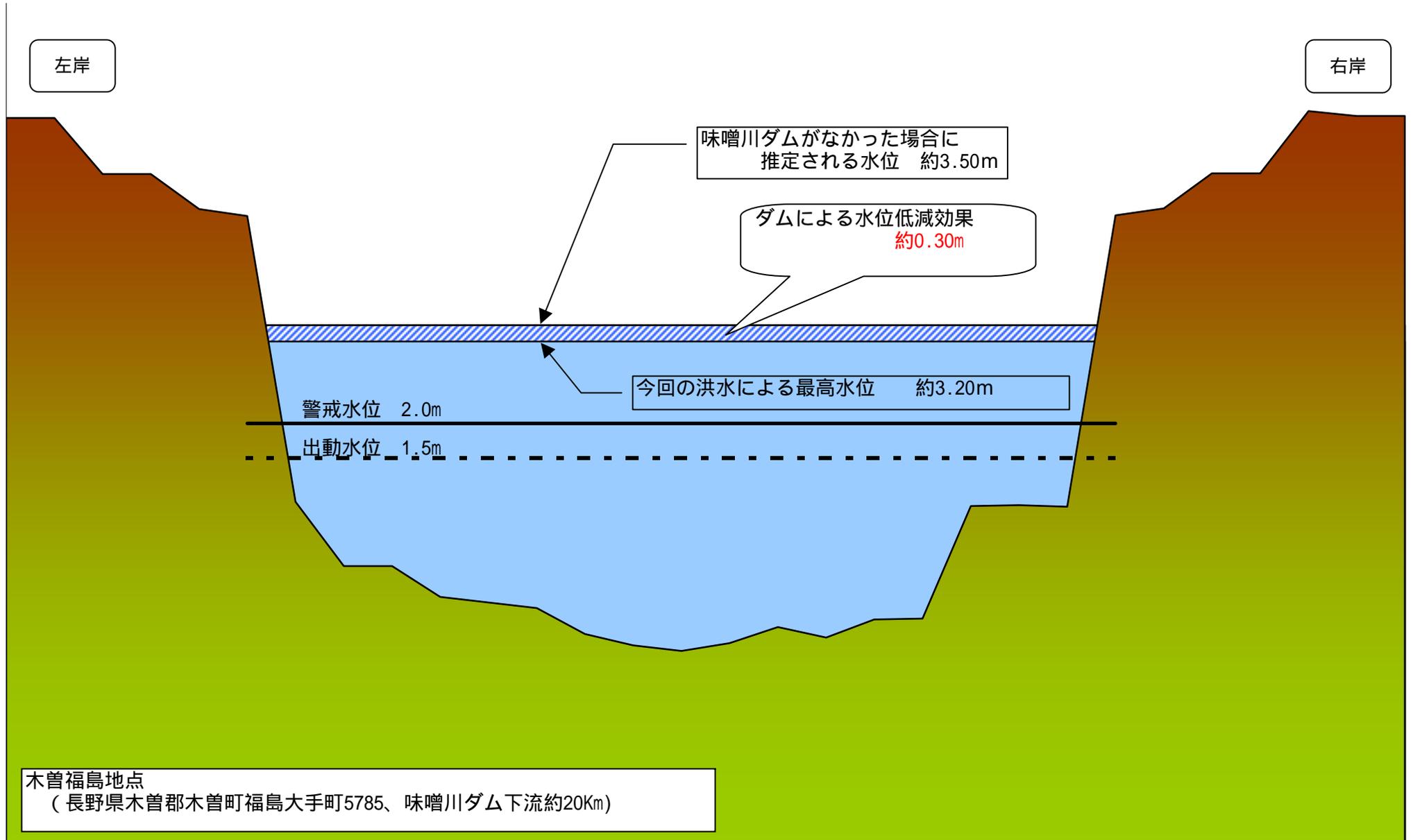
7. 問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 味噌川ダム管理所 所長代理(技術) 牧田 政善
電話 0264-36-3111
国土交通省 木曽川上流河川事務所 流水調整課長 大塚 康司
電話 058-251-3234

味噌川ダム洪水調節 [平成18年7月17～19日洪水]



味噌川ダムの洪水調節効果（木曾福島地点）



味噌川ダム 位置図

